

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第114号

2013年 5月



やどりき水源林ニュース



発行 (公財) かながわトラスとみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-412-2255 http://www.ktm.or.jp E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

五月の水源林は緑色

ようこそ! 寄へ...「森の案内人」の一日をご紹介します

9:00

管理人小屋を掃除し、準備します。水源林を分りやすく紹介したパンフレットやイベント紹介のチラシも確認します。

9:30

すばらしい新緑とすがすがしい空気の中、朝からたくさんの方が小屋に声をかけてくださいました。例えば今日は...⇒

10:00

午前の自然観察会がスタートします。わかりやすい説明とおお客様の目的や体力に合わせたご案内を心がけています。

11:30

野鳥のさえずりも聞こえてきました。観察コースではまだスマイルも咲いています。

12:00

お弁当の時間! やどりき水源林の素晴らしい森の空気も味わってみてください。川のせせらぎがとても気持ちいいですよ。

観察会は
1日2回
です



まず、何度もやどりき水源林にいらしている方が、シカや山の花の情報をくださいました。また、今日は消防署の方の山岳訓練とのこと。地元警察の方もいらっしやいました。お天気が良い日には老若男女のハイカーさんにお会いします。やどりき水源林は鍋割山への入り口でもあります。

※水源林とは、水道水のふるさと。森に降った雨は土壌に蓄えられ、ゆっくり川へと流れていきます



雨の日

•お客様がいらっしやらないことが多いのですが、そんな日は今後のため観察会のコースを巡回に行きます。どんな花が咲いているか...道は歩きやすいか...など

番外編

•やどりき水源林では、たくさんの森林インストラクターの仲間が森林整備や植生調査、さまざまな野生動物(水生動物や土壌生物も含む)の調査を行っています。

成長の森とは・・・

子供の健やかな成長と苗木の成長とを重ね合わせ、ともに見守る事により神奈川県豊かな森林を県民の方に育んでもらおうと、平成19年度よりはじめられた事業です。今までに4,500世帯以上の方にご参加いただき、1万本以上の苗木を植栽してきました。



ニガイチゴの花



ツボスマレ



ヒメウツギ

午後の観察会がスタート。今日は成長の森を見学に行かれるご家族連れの方がいらしてくださいました。

13:00

まず、水源林についての説明を行い、神奈川県の水道水はどこから来るのか、図を使ったりしながら解説をさせていただきました。その後、ご案内開始。歩きながら実際に水源林の植物の説明をいたしました。

13:30

銘板に到着。お子様の名前を確認できました。植栽した苗木は今はまだ小さいけれど、お子様のようにぐんぐん育って大きな木になりますように。

14:15

水源林の入口、管理人小屋へ帰ってきました。観察会は終了です。また遊びに来てくださいね。やどりき水源林では、季節によって様々なイベントを予定して沢山のお客様のお越しをお待ちしております。

15:00

日誌を書いて、掃除や施錠確認をしたら、次の当番の方へ引き継ぎます。次はどんなお客様にお会いできるのか楽しみです。

15:30



観察コースからの森の眺め

5月のピックアップ

寄水源林へ向かう林道の脇では、真っ白い花が目立つようになりました。ウツギの仲間が競うように咲いています。ここでは11種ほどみられるようです。インターネット版水源林ニュース105号(2012年6月)では、数種類のウツギの写真を掲載しております。ぜひご覧ください。



6月の水源林

6月にはいると、梅雨の季節となります。私たちにとってはなんだか蒸し暑くて、じめじめした印象の季節ですが、植物たちにとっては恵みの雨です。カジカガエルの鳴き声もいっそうにぎやかになります。やがてこの雨が私たちの飲み水になるには長い時間が必要で、森の土壌をゆっくり移動していきます。